

2023 年度

農検 3 級

日本農業検定 3 級試験問題

全 50 問

試験時間 50 分

注意事項

※監督者の指示があるまで、この問題を開いてはいけません。

※問題冊子の持ち帰りはできません。

空白ページ

問 1 農業の役割についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①農業は作物を栽培したり、家畜を育てる産業で、広い意味では農産物の加工や林業も含んでいる。
 - ②農業は家畜の排せつ物や、森林の間伐材、トウモロコシなどのバイオマスを利用したエネルギー生産にも関わっている。
 - ③医薬品の原料の生産は農業とは別の分野である。
-

問 2 農業・農村のもついろいろな働きについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①田畑の土は雨水の受け皿となって、洪水を防止している。
 - ②美しい農村の風景は人々の心を和ませてくれる。
 - ③田畑は特定の農産物を育てるために人が手を加えているので、生物多様性は壊されている。
 - ④農家が先生になって、米づくりなどを体験させる「食農体験活動」が全国的に広がっている。
-

問 3 農産物直売所についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①地産地消の多品目販売の場になっている。
 - ②少量の農産物でも出荷でき、農家が自分で値段を決められる。
 - ③店頭で消費者の反応を直接聞けるので、農家のやりがいにつながっている。
 - ④2017年の全国の年間総販売額は、6000億円に近づいた。
-

問 4 日本の食料自給率についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①2018年度のカロリーベースの食料自給率は、主要先進国の中で最低レベルの37%である。
 - ②食料自給率とは国内で生産された食料品の内、どのくらい国内消費に向けられているかを示す指標である。
 - ③2013年から2018年度の主要先進国の食料自給率を比較すると、食料自給率が最も高かったのはフランスだった。
 - ④米とともに日常食べられている味噌汁や豆腐、納豆は自給率100%に近い食品である。
-

問5 耕作放棄地(こうさくほうきち)についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①耕作放棄地面積は2000年以降、減少に転じている。
 - ②耕作放棄地とは、過去1年以上作物が栽培されず、今後も耕作に使う意志のない土地のことをいう。
 - ③耕作放棄地が発生する原因で最も多いのは「土地もち非農家の増加」である。
-

問6 野生鳥獣(やせいちょうじゅう)による農作物の被害についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①2018年度の野生鳥獣による被害額は前年度を上回っていた。
 - ②2018年度の野生鳥獣による被害額で最も多かったのは、シカによるものであった。
 - ③野生鳥獣の肉をジビエとして活用することは衛生上問題があるので禁止されている。
-

問7 地球温暖化についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①太陽の熱は地球に届く前に地球を取り巻く温室効果ガスによって温められ、高温になって地球に届いている。
 - ②地球温暖化の原因となっている温室効果ガスのうち、化石燃料の燃焼によって発生する二酸化炭素が全体の約6割を占めている。
 - ③1965年から2018年の間に、一次エネルギーの消費量は約2倍に増えている。
 - ④地球温暖化が進んでいるが、日本では熱帯夜は増えていない。
-

問8 パリ協定についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①パリ協定は2015年以降の温室効果ガスを削減するための国際的な取り決めである。
 - ②長期目標として「世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃以内、できれば1.5℃に抑える努力をすること」が掲げられている。
 - ③長期目標として「21世紀前半には温室効果ガス排出量と森林などによる吸収量のバランスをとれるようにすること」が掲げられている。
-

問 9 生物多様性についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①生物多様性とは、一つの環境のなかで、それぞれの生物が別々にすみ分けている状態をいう。
 - ②生態系の多様性とは、動植物が生きている自然環境が数多く存在する状態をいう。
 - ③遺伝子の多様性とは、同じ種でも、遺伝子が多様で個々の性質や形に少しずつ違いがある状態をいう。
-

問 1 0 農地や農村周辺の生態系についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①いくつもの生物が農地・農村の周辺で生命をつなぎ合っている状態は、農地生態系と呼ばれている。
 - ②アキアカネは産卵からふ化、成長、再び産卵と、水田で一生活を過ごしている。
 - ③タンチョウヅルなどの渡り鳥は、水田を餌場とするなど人間のつくりだした環境に順応している。
-

問 1 1 地産地消についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①地産地消とは、地域で生産される農産物の種類や量などの決定について、その地域の消費者が積極的に関わっていくことをいう。
 - ②生産者にとっては、消費者ニーズに応じた生産が展開できる利点がある。
 - ③消費者にとっては、生産者との「顔の見える関係」ができることで、生産状況や品質を確認しやすくなる。
 - ④消費者にとっては、地域の食文化についての理解を深め、伝統的な食文化の継承につながる。
-

問 1 2 フード・マイレージについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①フード・マイレージは農林水産省が開発した食料輸送にともなう環境負荷に関わる指標である。
 - ②フード・マイレージは食料の輸送量(ton)に生産地から消費地までの輸送距離(km)をかけたもので表す。
 - ③2001年の日本のフード・マイレージの数値は、先進国のなかではアメリカに次いで大きい。
 - ④食料の地産地消はフード・マイレージを小さくし、環境を守ることにつながる。
-

問 1 3 肥満と生活習慣病に関する説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①メタボリックシンドロームの状態では、動脈硬化(どうみやくこうか)が進み、その結果、心筋梗塞(しんきんこうそく)や脳梗塞(のうこうそく)などを引き起こすリスクが上昇する。
 - ②生活習慣病である高血圧、脂質異常症(しじついじょうしょう)、糖尿病(とうにようびょう)のうち 2 つ以上を持つ状態は、メタボリックシンドロームと呼ばれている。
 - ③肥満になると腰痛などの関節障害(かんせつしょうがい)を起こしやすくなるほか、すい炎、脂肪肝(しぼうかん)、各種のがんを引き起こすリスクが高くなる。
-

問 1 4 地域と伝統野菜の組み合わせで、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①山形県：糸巻き大根
 - ②群馬県：下仁田ねぎ
 - ③愛知県：守口大根
 - ④島根県：津田かぶ
-

問 1 5 発酵食品とそれに関わる微生物の組み合わせで、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①チーズ：乳酸菌
 - ②みりん；麹菌(こうじきん)
 - ③納豆：酵母菌(こうぼきん)
 - ④ぬか漬け：乳酸菌
-

問 1 6 生鮮食品の表示についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①野菜・果物には「名称」と「原産地」が表示されている。
 - ②輸入品の肉には「原産国名」が表示されている。
 - ③解凍した魚には「冷凍品」と表示されている。
-

問 1 7 箸(はし)の伝来と定着についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①箸は中国大陸から伝わり、鎌倉時代に使い方が定着した。
 - ②日本の家庭では、基本的に自分が使う箸が決まっており、これは海外でのナイフやフォークについても同じである。
 - ③江戸時代に竹箸が使われるようになったことが、割り箸が生まれるきっかけとなった。
-

問 1 8 野菜の切り方とそれがよく用いられる調理の組み合わせで、正しいものは次のうちどれですか。

- ①小口切り：きゅうりの和え物
 - ②ささがき：キャベツのサラダ
 - ③いちよう切り：ごぼうの煮物
 - ④せん切り：かぶの煮物
-

問 1 9 食中毒予防のポイントについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①生鮮食品の購入時はなるべく新鮮なものを選び、加工食品については消費期限・賞味期限を確認する。
 - ②冷蔵庫の詰め込みすぎに注意し、目安は庫内容積の9割までとする。
 - ③食材（生食用途を除く）を調理するときは十分加熱し、調理途中のものは冷蔵庫で保管する。
 - ④料理を保存するときはきれいな容器を使い、調理後時間が経ちすぎて品質劣化が心配な場合は廃棄する。
-

問 2 0 食中毒とその原因となるものについて、正しいものは次のうちどれですか。

- ①植物性自然毒による食中毒の原因となるものにはキノコ、毒草などがある。
 - ②ウイルス性食中毒の原因となるものにはセレウス菌などがある。
 - ③毒素型の細菌性食中毒の原因となるものにはノロウイルスなどがある。
 - ④寄生虫による食中毒の原因となるものには魚毒、貝毒などがある。
-

問 2 1 五大栄養素の動きに関する説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①炭水化物は体のエネルギー源になる栄養素である。
 - ②タンパク質は体をつくる栄養素である。
 - ③脂質は体のエネルギー源になる栄養素である。
 - ④ビタミンは体をつくる栄養素である。
-

問 2 2 人体における水分の動きに関する説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①エネルギー源になる。
 - ②体内の老廃物を体の外に出す。
 - ③栄養素を運ぶ。
-

問 2 3 野菜の種子で、光が当たる方が発芽しやすい好光性種子(こうこうせいしゅし)は次のうちどれですか。

- ①ナス
 - ②トマト
 - ③ダイコン
 - ④レタス
-

問 2 4 冬でも露地で栽培できる野菜として、正しいものは次のうちどれですか。

- ①サトイモ
 - ②トウモロコシ
 - ③キャベツ
 - ④トマト
-

問 2 5 光合成についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①光合成とは、光のエネルギーを使い、水と空気中の酸素を原料にして炭水化物をつくるはたらきである。
 - ②植物は光合成ができるが、動物はできない。
 - ③植物は、光合成で作られた炭水化物をもとに、成長・開花して実を結ぶ。
 - ④収量や品質は、光合成のはたらきに大きく影響されるので、光合成量を多くするための栽培管理が課題になる。
-

問 2 6 植物の呼吸についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①植物は、人間や動物たちと同じように、生きていくために呼吸をしている。
 - ②植物の呼吸作用は、光合成で生産した炭水化物を分解し、成長に必要な「生命活動エネルギー」をつくり出す作用である。
 - ③植物の呼吸は、光合成活動が行なわれる昼間には行われない。
-

問 2 7 「肥料の3要素」についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①窒素は、葉や茎の伸長を促す要素である。
 - ②リン酸は、根の発育を促す要素である。
 - ③カリウムは、花や結実を良くする要素である。
-

問 2 8 有機質肥料についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①油かすは、リン酸が豊富な肥料である。
 - ②魚かすは、窒素、リン酸を含む比較的速効性の肥料である。
 - ③骨粉は、リン酸を多く含む速効性の肥料である。
 - ④草木灰(そうもくばい)は窒素を多く含む肥料である。
-

問 2 9 生育に適した土についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①排水性・通気性の良い土
 - ②保水性や保肥力のある土
 - ③土の粒子間に、すき間のない土
 - ④有機物の分解物である腐植が入った土
-

問 3 0 作物の生育に適した土壌酸度 (pH) についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①多くの作物の生育に適した土壌の pH は、5.5～6.5 の弱酸性といわれている。
 - ②pH が高い土壌は石灰をまくことで、pH を低くすることができる。
 - ③ホウレンソウは pH の低い土壌を好む。
 - ④ジャガイモは pH の高い土壌でよく育つ
-

問 3 1 野菜の原産地についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①ナスの原産地はインドである。
 - ②トマトはの原産地は東南アジアのタイである。
 - ③キュウリの原産地は中南米のチリである。
 - ④ミツバの原産地は中国である。
-

問 3 2 肥料についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①窒素、リン酸、カリウムの含有率の合計が 20%未満のものを普通化成、20%以上ものを高度化成という。
 - ②速効性肥料は、施肥後すぐに効果があらわれる肥料である。
 - ③肥料袋に印刷してある 8-8-8 という数字は、窒素・リン酸・カリウムの成分量を各 8%含むという意味である。
-

問 3 3 害虫の防除方法についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①天敵を活用して害虫の生育密度を減らす方法を、生物的防除法という。
 - ②害虫の飛来や産卵を防ぐために「防虫ネット」を活用する方法を、耕種的防除法という。
 - ③混植することで害虫を防除する方法は、物理的防除法のひとつである。
-

問 3 4 プランター栽培の基本についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①プランター栽培に適する用土は、水はけが良く、根腐れを心配せずに毎日たっぷり水やりができることである。
 - ②プランター栽培で与える肥料は、すぐに効果がある速効性肥料がよい。
 - ③プランターに施肥する場合は、株元から遠い位置に施す「条溝施肥(じょうこうせひ)」がよい。
-

問 3 5 稲の栽培過程で、土に酸素を供給するために水を抜くことを表す言葉は次のうちどれですか。

- ①分けつ
 - ②中干し
 - ③もみすり
-

問 3 6 種まきに適したイネの種子(種もみ)についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①種子(種もみ)が吸水を始め、もみがわずかにふくらみ始めた状態。
 - ②小さな白い芽が種子(種もみ)の外に出てきたハト胸状態。
 - ③白い芽と根が種子(種もみ)の外に伸び出してきた状態。
-

問 3 7 カブについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①日照を好むが、半日陰でも栽培ができる。
 - ②関東地方の温暖地では、7月から8月にかけて、種まきを行なう適期である。
 - ③プランターに種まきをした後は、覆土(ふくど)は行わない。
 - ④大カブの品種をプランターで育てる場合、直径 15cm 程度になったら収穫適期である。
-

問 3 8 カブの裂根(れっこん)についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①食用部となるカブの葉が出ている部分が亀裂(きれつ)する現象である。
 - ②土の中の水分が急激に変化すると起きやすい。
 - ③暖かい気温から低温期にかけての時期に起きやすい。
-

問 3 9 コマツナの性質についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①酸性土壌にも比較的強い野菜である。
 - ②連作障害が出やすい野菜である。
 - ③冬の低温期を除いて一年中栽培できる野菜である。
 - ④乾燥には強い野菜である。
-

問 4 0 コマツナの栽培管理についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①春・秋に種まきする品種は、白さび病がでにくい品種を選ぶと良い。
 - ②本葉 3 枚までの生育初期には、防虫ネットや不織布(ふしょくふ)を張って栽培すると良い。
 - ③間引き作業は、他の苗を傷めないようにハサミを使い、丁寧に行なうようにする。
 - ④追肥は、プランターの縁より株元に行うようにする。
-

問 4 1 シソについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①赤紫色をしたシソは「赤ジソ」と呼ばれている。
 - ②シソは日当たりがよすぎると葉が硬くなり、苦味（にがみ）やえぐ味がでる。
 - ③青ジソは、生食などの薬味として利用される。
 - ④赤ジソはアクが少ないので、梅干しや漬物などの色付けやジュースなどの加工品に利用される。
-

問 4 2 シソの特性についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①日当たりの良い場所で育てると、やわらかい葉になる。
 - ②種子は、発芽のときに光を好む「好光性種子(こうこうせいしゅし)」である。
 - ③乾燥した場所を好む野菜である。
-

問 4 3 レタスについての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①レタスはアブラナ科の野菜である。
 - ②レタスの和名は「乳草」を略して「チシャ」と呼ばれる。
 - ③プランター栽培では、葉レタスより結球するレタスが栽培しやすい。
 - ④結球レタスは、生育が進むにつれて内側の葉が発達する。
-

問 4 4 レタスの特性についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①15℃以下の低温に反応して、花芽分化する。
 - ②気温が10℃以下になると、生育が急に悪くなる。
 - ③結球レタスは、結球時に光が不足すると結球が固くなる。
-

問 4 5 レタスの栽培管理についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①種子は、冷蔵庫に2日ほど入れて低温にあわせると発芽がしやすくなる。
 - ②種まき後は、種に光があたらないようにしっかりと土をかぶせる。
 - ③土が乾燥すると品質が低下するので、夏場は1日2回水やりを行なう。
-

問 4 6 イチゴについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①品種には、一季成りイチゴと四季成りイチゴがある。
 - ②一季成りイチゴは、9月以降の低温・短日で花芽分化する。
 - ③株の付け根の短い茎の部分から、クラウンと呼ばれる特殊な茎が作られる。
 - ④連作障害を起こしやすい野菜である。
-

問 4 7 翌年に向けたイチゴの苗についての説明で、正しいものは次のうちどれですか。

- ①イチゴの種を収集し、種をまいて苗を育てる。
 - ②イチゴの親株をそのまま翌年の苗として使う。
 - ③親株から伸びたランナーに発生する子株のうち、親株から数えて二番目以降につく子株を新しい苗とする。
-

問 4 8 エダマメについての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①エダマメは、大豆が未成熟のうちに収穫して食用とする野菜である。
 - ②エダマメは高温に対して耐暑性(たいしょせい)がある。
 - ③収穫後、甘みが増すように2~3日おいてから食べると良い。
-

問 4 9 エダマメの栽培管理についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①種まき後の生育初期は鳥の害を受けやすいので、防鳥網や不織布をかけると良い。
 - ②根元に土を足す「増し土」には、根元の茎から根をださせ、生育を旺盛(おうせい)にする効果がある。
 - ③追肥はカリ肥料を控え、窒素肥料を多めに与えると実が肥大する。
 - ④葉が奇形になるウイルス病が発生した時は、ほかの株に伝染しないように抜き取る。
-

問 5 0 エダマメと根粒菌(こんりゅうきん)の共生についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ①根にできる根粒は、空気中の根粒菌がエダマメの根の傷口から入って根にできるこぶである。
 - ②根粒菌は、空気中の窒素を取り込んでエダマメに供給している。
 - ③エダマメは、光合成でつくった炭水化物を根粒菌に供給している。
-

日本農業検定